

令和6年2月10日 医療部会第3回研修会 報告

日時：令和6年2月10日（土）10:20～16:40

場所：オンライン配信（ZOOM ミーティングを利用）

配信会場：偕行会城西病院 会議室

参加者：62名（会員60名 非会員2名）

テーマ：対象者の食事摂取量の適切な把握

基調講演「食事調査の方法論について ー理論の次は、現場で実践」

講師：至学館大学 健康科学部 栄養科学科 教授 今枝 奈保美 先生

演習「食事摂取量の把握の実践編(3症例)」

講師：医療法人博報会 岡崎東病院 木原 八千代 先生

医療法人社団喜峰会 東海記念病院 栄養科係長 藍川 智津 先生

医療法人偕行会 名古屋共立病院 梅田 華那 先生

午前の基調講演では、食事調査方法の種類とそれぞれの特徴や対象、そして問題点についてご説明いただきました。

また、アメリカでの食事調査例や、ご自身の作成した栄養計算のシートのご紹介もいただきました。

私たち栄養士・管理栄養士は、対象者や食事調査結果（そのアセスメント）の発信先に応じた調査方法の選択が必要であり、またその調査方法によって得られる結果の精度などを理解した上で、アセスメントすることが重要であると学びました。

午後の演習では、高齢者、糖尿病、心不全の3症例を提示していただきました。

今回は、自身の予習結果を講師の先生やグループワークに参加の先生方の活発な意見交換を視聴しながらの演習でした。

医療の現場にいても、他の職種と違い、同職種である他の栄養士の先生方の栄養指導の様子やアセスメントに触れる機会が少ないのが現状です。グループワークによる活発な討論などを視聴することで自身の栄養指導の振り返りや問題点を発見できる、貴重な機会となりました。

報告者：医療法人偕行会 海部共立クリニック 高橋恵理香

